

## 第16条 ラック



### 定義

ラックとは、双方の一人またはそれ以上のプレーヤーが立ったまま、身体を密着させて、地上にあるボールの周囲に密集するプレーのことをいう。オープンプレーは終了する。

ラッキングとは、ラックに参加しているプレーヤーが、不正なプレーを行うことなく、足を使ってボールを獲得またはキープしようとするをいう。



ラック

## 第16条 ラック



### 16.1 ラックの形成

- (a) **どこで:** ラックはフィールドオブプレー内でのみ発生する。
- (b) **どのようにして:** プレーヤーは立っていなければならない。少なくとも1人のプレーヤーが相手側プレーヤーの1人と身体を密着させていなければならない。ボールは地上になければならない。何らかの理由によりボールが地上にない場合、ラックは形成されない。

### 16.2 ラックへの参加

- (a) ラックを形成しようとするプレーヤー、ラックに参加しているプレーヤー、および新たに参加しようとするプレーヤーは、頭と肩を腰よりも低くしてはならない。

**罰:** フリーキック

- (b) ラックに参加するプレーヤーは、腕全体を使って、味方または相手側プレーヤーにバインドしなければならない。バインドは、ラックに参加するプレーヤーの体の他の部分との接触よりも先、または同時でなければならない。

**罰:** ペナルティキック

- (c) ラックの中で他のプレーヤーに手をかけていることはバインドしていることにはならない。

**罰:** ペナルティキック

- (d) ラックを形成しようとするプレーヤー、ラックに参加しているプレーヤー、および新たに参加しようとするプレーヤーは、立っていなければならない。

**罰:** ペナルティキック

### 16.3 ラッキング

- (a) ラックの中のプレーヤーは立っようとして努めなければならない。

**罰:** ペナルティキック

- (b) プレーヤーはラックの中で故意に倒れたり、膝をついてはならない。これは危険なプレーである。

**罰:** ペナルティキック

## 第16条 ラック



- (c) プレーヤーは故意にラックをくずしてはならない。これは危険なプレーである。  
**罰：ペナルティキック**
- (d) プレーヤーはラックの上に飛びかかってはならない。  
**罰：ペナルティキック**
- (e) プレーヤーは頭と肩を腰より低くしてはならない。  
**罰：フリーキック**
- (f) ボールをラッキングするプレーヤーは、地面に横たわっているプレーヤーを故意にラッキングしてはならず、また、またぐように努めなくてはならず、故意に踏んではならない。プレーヤーはボールに近接してのみラッキングすることができる。  
**罰：ペナルティキック**

### 16.4 その他の反則

- (a) プレーヤーはラックの中へボールを戻してはならない。  
**罰：フリーキック**
- (b) プレーヤーはラックの中のボールを手で扱ってはならない。ただし、タックル後に、ラックが形成される前に立っている状態でボールに手を置いている場合を除く。  
**罰：ペナルティキック**
- (c) プレーヤーはラックの中のボールを脚で拾い上げてはならない。  
**罰：ペナルティキック**
- (d) ラックの中、またはラックに近接して地上に横たわっているプレーヤーは、ボールから離れようと努めなければならない。これらのプレーヤーは、ラックの中のボール、またはボールがラックから出てくるのを妨害してはならない。  
**罰：ペナルティキック**
- (e) プレーヤーはラックから出てくるボールの上に、またはそのボールを越えて倒れこんではならない。  
**罰：ペナルティキック**

## 第16条 ラック



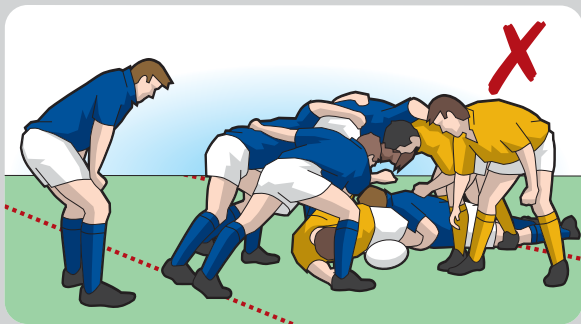
- (f) プレーヤーはボールがラックの中にある間に、あたかもボールがラックから出たと相手側に思わせるような素振りをしてはならない。

罰：フリーキック

### 16.5 ラックにおけるオフサイド

- (a) **オフサイドライン**：双方のチームに1本ずつ、ゴールラインに平行して2本のオフサイドラインが発生する。それぞれのオフサイドラインはラックの中の最後尾の足を通る。最後尾の足が、ゴールライン上、またはゴールラインの後方にある場合、防御側のオフサイドラインはゴールラインとなる。
- (b) プレーヤーはオフサイドラインの後方からラックに参加するか、ただちに後方に下がらなければならない。プレーヤーがラックの横でうろろしている場合、そのプレーヤーはオフサイドである。

罰：ペナルティキック



ラックやモールにおいて、自チームの最後尾のプレーヤーの足を通してオフサイドラインが形成される。黄のジャージーを着た図の右側のプレーヤーはオフサイドである。

- (c) ラックに参加する、または、再び参加するプレーヤー：ラックに参加するプレーヤーは、ラックの中の最後尾の味方の足の後方から参加しなければならない。プレーヤーはこの最後尾のプレーヤーに並んでラックに参加してもよい。プレーヤーが相手側からラックに参加したり、最後尾の味方の前方に参加した場合、そのプレーヤーはオフサイドである。オフサイドにならないければ、相手プレーヤーにバインドしてもよい。

**罰：反則をした側のオフサイドライン上でペナルティキック**

- (d) ラックに参加していないプレーヤー：プレーヤーがオフサイドラインの前方にとどまりラックに参加していない場合、そのプレーヤーは直ちにオフサイドラインの後方に退かなければならない。オフサイドラインの後方にいるプレーヤーが、オフサイドラインを踏み越え、しかもラックに加わらない場合、そのプレーヤーはオフサイドとなる。

**罰：反則をした側のオフサイドライン上でペナルティキック**

### 16.6 ラックの終了

ラックは、ボールがラックから出るか、あるいはラックの中のボールがゴールライン上にあるか、または越えてインゴールに入った場合に終了する。

### 16.7 ラックの終了（スクラムへの移行）

- (a) ボールがアンプレアブルとなりスクラムが命じられたとき、ラックは終了する。  
ラックの中のボールがアンプレアブルとなる直前に前進していたチームがボールを入れる。  
ラックの中のボールがアンプレアブルとなる直前に、どちらのチームも前進していなかったり、どちらのチームが前進していたかレフリーが判断できないときは、ラックの前に前進していたチームがボールを入れる。  
どちらのチームも前進していなかったときは、攻撃側のチームがボールを入れる。
- (b) レフリーはスクラムを命じる前に、ボールがラックから出るのに適当な時間の余裕を見なければならぬ。特にいずれかのチームが前進している場合には大切である。ラックが停止したり、ボールが適当な時間内にラックから出ないとレフリーが判断した場合には、スクラムを命じなければならない。